令和 6年 6月 5日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

長時間就業により疲労が蓄積している個人事業者等に対する医師の面談について

平素より産業保健活動の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、別添のとおり、厚生労働省労働基準局安全衛生部長より、日本医師会宛に、周知の協力依頼がありました。

厚生労働省では、令和5年10月に公表された「個人事業者等に対する安全衛生対策のあり方に関する検討会」報告書で提言された個人事業者等の過重労働、メンタルヘルス、健康確保等の対策をもとに、労働政策審議会安全衛生分科会での議論を経て、個人事業者等が健康に就業するために、個人事業者等が自身で行うべき事項、個人事業者等に仕事を注文する注文者等が行うべき事項や配慮すべき事項等を周知し、それぞれの立場での自主的な取組の実施を促す目的で、「個人事業者等の健康管理に関するガイドライン」が策定されました。同時に、医師向けの手引きとして「個人事業者等の健康管理に関するガイドラインに基づく個人事業者等に対する医師の面談に関するFAQ」も作成されております。

ガイドラインでは、注文者等は、注文条件等によって就業時間が長時間になり、疲労の蓄積が認められる個人事業者等から求めがあったときは、長時間労働者に対する面接指導制度を参考にして、当該個人事業者等に対して医師による面談を受ける機会を提供することになっています。

医師は、長時間労働者に対する医師の面接指導制度を参考にして、健康の保持のために必要な助言を個人事業者等に対して行い、面談の結果は、注文者等にではなく、書面で個人事業者等に通知することとなっております。その際、書面には、①疲労の蓄積の状況及び心身の状況、②医療機関への受診の必要性の有無、③就業上の助言（就業時間に関することなど）を含めることになっています。

なお、個人事業主等に対する面談を行う医師は、産業医、産業医の要件を備えた医師等労働者の健康管理等を行うのに必要な医学に関する知識を有する医師が望ましいとされています。

貴会におかれましても、ご了知いただき、会員医療機関へご周知賜りますようよろしくお願い申し上げます。

●長時間就業により疲労が蓄積している個人事業者等に対する医師の面談について

https://www.med.or.jp/japanese/members/bunsyo/data3/kenko1/2024ken1_439.pdf

※ユーザー名とパスワードでのログインが必要です。

ユーザー名：会員ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角で入力）です。

宛名シール下部に印刷されている10桁の数字です。

パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」を並べた6桁の数字です（半角入力）

※事務局：地域医療1課 堀田（TEL 06-6763-7012・FAX 06-6766-2875）